

音楽科学習指導案

安芸太田町立戸河内中学校

指導者 今村 毅

1 日 時 平成●●年●月●●日 (●) ●校時 ●● : ●● ~ ●● : ●●

2 学 年 第1学年 (男子●名 女子●名 計●●名)

3 題材名 「旋律の特徴を生かした表現」 教材 : 「浜辺の歌」

4 場 所 音楽室

5 教材について

(1) 題材観

教材「浜辺の歌」は、浜辺に打ち寄せる波の情景を表すような伴奏に支えられた、叙情的な歌詞と旋律をもつ楽曲である。まず、その美しさに触れるとともに、歌に込められた情緒や風情を味わうことで、受け継がれた日本人の心情を感じ取らせたい。そして、拍子や速度が生み出す雰囲気、歌詞の内容と強弱の変化との関係などを感じ取り、フレーズのまとまりや形式などを意識して表現を工夫させていきたい。共通事項は、リズム・旋律・強弱を扱う。これは中学校学習指導要領[第1学年](1)A表現(1)ア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。」及び、(2)ア「曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。」に基づくものである。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、小学校の時から伸び伸びと歌うことのできるクラスで、様々な合唱曲に抵抗なく取り組んできている。ほとんどの生徒が歌うことが好きで、思いきり声を出すことができるが、消極的な生徒も若干いる。また、男子の中に、変声期にさしかかっていることで、自分の声に自信がもてず、発声や音程をとることが不安定なため、十分歌うことを楽しめていない生徒もいる。

リコーダーに関して、小学校からの学習で得意としている生徒が多い。中学生になってからは、アルトリコーダーを、学習し始めて間もないが、基本的な奏法を押しえながら、楽しんでいる様子である。

(3) 指導観

表現教材において「我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの」を、歌唱教材として選択すること」と指導要領に示されていることを念頭におき、フレーズや詩に興味・関心をもたせながら表現の工夫をさせていく。また、6拍子にのって、各フレーズのまとまりを生かした演奏の仕方を工夫させたい。そして、本校の研究主題である「協調学習」を引き起こす授業づくりとしては、移動ド唱法の基本的な考え方に気づかせるとともに、表現を工夫しながら合わせて演奏する能力を育てていきたい。

6 研究主題との関わり

研究主題

学ぶ楽しさを実感し、自ら学び続ける生徒の育成
～「協調学習」を引き起こす授業づくりを通して～

教材曲をアルトリコーダーで演奏する場合、へ長調の楽譜からハ長調に移調して奏する方が、生徒の実態に適していると考えます。そこで、移動ド唱法の仕組みを簡単に押さえ、「強弱」「タンギングによる奏法」などの面から、表現を工夫していこうとする態度をもたせ、その能力を育てていくことをねらいとした。

7 題材の目標

○フレーズの特徴を生かした表現を工夫しよう。

8 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
歌詞のイメージ（情景）やフレーズの特徴に興味・関心をもち、それらを生かした演奏表現に主体的に取り組もうとしている。	フレーズの特徴や強弱の効果を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、歌詞のイメージ（情景）をどのように表現するかについて思いや意図を持っている。	歌詞のイメージ（情景）を表現するために、フレーズの特徴を生かした強弱をつけて演奏している。

9 指導と評価の計画（全3時間）

	学習内容	評 価				
		関	創	技	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想からその情景を思い浮かべる。 歌詞唱を通し、旋律の流れや歌詞に込められた思いを感じ取る。 	◎	○		歌詞のイメージ（情景）やフレーズの特徴に興味・関心をもち、それらを生かした演奏表現に主体的に取り組もうとしている。歌詞のイメージ（情景）をどのように表現するかについて思いや意図を持っている。	【ア】 発言内容 【イ】 行動観察
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 6拍子の拍子感にのって、リコーダーを演奏する。 フレーズの特徴を生かして、強弱の変化をつけ演奏する。 		○		フレーズの特徴や強弱の効果を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じている。	【イ】 発言内容 演奏聴取
3	<ul style="list-style-type: none"> 曲全体の抑揚や山場やフレーズ感を考えて、楽曲にふさわしい表現を工夫する。 		○	◎	歌詞のイメージ（情景）を表現するために、フレーズの特徴を生かした強弱をつけて演奏している。	【イ】 ワークシート 【ウ】 演奏聴取

10 本時の学習

(1) 本時の目標

旋律の特徴を生かした表現を工夫しよう。

(2) 観点別評価規準

○音楽表現の創意工夫

楽曲のもつ雰囲気に沿って、どのように表現していくか思いや意図を持っている。・・・【イ】

(3) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導 入	0 発声練習, 既習曲の歌唱 (5分) 本時の目標: 旋律の特徴を生かした表現を工夫しよう。		
	1 「浜辺の歌」を歌詞唱する。 ・浜辺の情景を思い浮かべる。 ・6拍子の特徴を生かして歌唱する。(5分)	◇情景のイメージ, 大きな2拍子と3拍子との比較など感じ取らせる。 ◇キーワード 旋律 強弱 の提示 ◇どんな旋律か考えさせる。	・旋律や曲想を感じ取り, 自分の意見を出しているか。【発言内容】
展 開	ハ長調の既習曲を吹く。(5分) 「協調学習」のテーマ: アルトリコーダーで表現の工夫をしよう。	◇「Amazing Grace」気持ちを込めて吹かせる。 ◇旋律のことに触れる。どのような旋律か。	・速度や強弱を意識して演奏できているか。【演奏聴取】
	2 エキスパート活動 (10分) 3つのグループに分かれてそれぞれの資料から階名読み・階名唱, リコーダー奏をする。		
	A: へ長調の楽譜を見ながら, 既習曲を吹く。<強弱の表現> B: 「浜辺の歌」の冒頭部分を, 既習した運指を用いて吹く。<タンギングの違いによる奏法> C: 「浜辺の歌」の冒頭部分の旋律をピアノで弾く。(へ長調で)<ピアノ伴奏の感受>	◇A は, へ長調の楽譜をハ長調読みの階名で演奏できることに気づかせる。強弱を読み取らせる。 ◇B は, 低いソから始まる旋律を吹けるようにし, 階名でも歌えるようにする。タンギングの違いを習得させる。 ◇C は, へ長調の楽譜を見て, 鍵盤の位置を確認しながら弾けるようにする。固定ドによる階名唱をさせる。 ◆気づいたことを端的に説明できるように促す。 ◆わからないことは, みんなで考えを出し合って解決させる。	
	3 ジグソー活動 (10分) エキスパートグループで取り組んだことを, 班員に伝え, 「浜辺の歌」を移動ドで歌い, リコーダーで吹けるようにする。(表現の工夫)	◇全員がグループ内で発言できるように促す。 ◇移動ドでの階名唱をできるようにする。 ◇強弱, タンギングなど工夫させる。	
4 クロストーク活動 (10分) グループで留意した点などを出し合って演奏する。	◇意識したこと, 気をつけたことなどまとめさせる。		
ま と め	5 リコーダーで各フレーズを吹く。(5分)	◇各フレーズの特徴や強弱の効果を意識して, 曲想のイメージに合う表現を工夫させる。	・旋律の流れに留意して吹けているか。【演奏聴取】

1 1 授業観察の視点

- (1) 協調学習: ・資料は適切であったか。・能動的な学び(建設的相互作用)を引き起こすことができたか。
- (2) 教科の目標に迫られていたか。
- (3) 生徒の活動は活発なものであったか。